

パワーハラスメントを 考える (全2巻)

企 画/職場のハラスメント研究所

監修・解説/金子雅臣(職場のハラスメント研究所 所長)

東京都にて長年労働相談に従事。ルポライターとしても活躍。退職後、労働ジャーナリストとして多くの執筆活動の傍ら、多くの企業、団体に講演・指導等も手掛ける。2008年に職場のハラスメント研究所を設立。その他ビデオ監修に「わかったつもりでいませんか?セクハラ対策の新常識」(アスパクリエイト)など。

DVD

■各巻 ¥40,000 ■2巻セット 80,000円(税別・送料込)



シリーズの特徴

- 「業務の範囲を超える指導」とは何かを、事例を用いて分かりやすく解説。
- 業務の指示・命令に関係のない、同僚同士や部下からのパワーハラになるときの要件がよく理解できる。
- パワーハラが最も起こりやすい部下指導の事例で構成した、管理職必見の教材。また各事例について、予防のための対策にも言及。

激増するパワーハラスメント。しかし、それを判断するのは難しく、パワーハラを指摘された上司が、部下を厳しく指導・管理しづらくなったり、部下が上司の指導に過剰反応するケースも起きています。このDVDでは、厚生労働省の概念にそったパワーハラジャッジの要件を踏まえ、もう一度職場全員でパワーハラを正しく理解し、さまざまな部下への指導の仕方をわかりやすく解説していきます

1 パワーハラを正しく理解するために

(全社員向け)約28分

上司だけでなく、誰もがパワーハラ加害者になりえる現在、何がパワーハラを生み、どのような行為がパワーハラになるのか、3つの事例から職場全員でパワーハラを正しく理解する基礎的教材。

- 事例1 「根性論を振りかざす上司」
- 事例2 「組織からはじき出された上司」
- 事例3 「同僚からのパワーハラ」



2 パワーハラにならない叱り方

(管理職向け)約27分

指導・叱責はコミュニケーションの一環で行なわれることが大切であり、相手に正しく伝わらなかったり、受け入れられなければ意味がありません。このDVDは、3つのケースから部下にどう対応すればいいの、パワーハラにならない叱り方、指導法を解説する管理職向け教材。

- 事例1 「報告しない部下」
- 事例2 「協調性のない部下」
- 事例3 「ケアレスミスをくり返す部下」

